

2026年度 「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業」 選定結果の発表

～ 企業価値創造を支える対話とディスクロージャー ～

2026年10月8日
公益社団法人 日本証券アナリスト協会
ディスクロージャー研究会

目 次

■ ディスクロージャー研究会委員・専門部会長名簿	3
■ 選定結果の総括(業種別)	4
■ 選定結果の総括(新興市場銘柄、個人投資家向け情報提供)	6
■ ディスクロージャー優良企業(全社一覧)	7
■ ディスクロージャー優良企業(業種別)	8
■ ディスクロージャー優良企業(新興市場銘柄、個人投資家向け情報提供)・・・	10
■ ディスクロージャー称賛企業(高水準企業、改善が著しい企業)	11
■ 「中小型株等上場企業向けの業種別のディスクロージャーガイドライン 及び好事例」(試行作成)について	12

2026年度 ディスクロージャー研究会委員・専門部会長名簿

〔ディスクロージャー研究会委員〕

座長	許斐 潤	野村證券
座長代理	伊藤 敏憲	伊藤リサーチ・アンド・アドバイザー
	五十崎義将	東京海上アセットマネジメント
	内田 陽祐	野村アセットマネジメント
	鈴木 孝彦	明治安田生命保険
	津田 和徳	大和証券
	森田 正司	岡三証券
	渡辺 英克	みずほ証券

(五十音順)

〔ディスクロージャー研究会各専門部会長〕

建設・住宅・不動産	川嶋 宏樹	SMBC日興証券
食 品	守田 誠	野村證券
化 学 ・ 織 維	渡部 貴人	モルガン・スタンレーMUFG証券
ト イ レ タ リ ー・化 粧 品	広住 勝朗	大和証券
医 薬 品	山口 秀丸	シティグループ証券
鉄 鋼 ・ 非 鉄 金 属	山口 敦	SMBC日興証券
機 械	田井 宏介	大和証券
電 気 ・ 精 密 機 器	佐渡 拓実	大和証券
自 動 車・同 部 品・タ イ ヤ	箱守 英治	大和証券
エ ネ ル ギ ー	新家 法昌	みずほ証券
運 輸	姫野 良太	JPモルガン証券
通 信・イン タ ー ネ ッ ト	増野 大作	野村證券
商 社	成田 康浩	野村證券
小 売 業	小場 啓司	モルガン・スタンレーMUFG証券
銀 行	高宮 健	野村證券
保 険・証 券・そ の 他 金 融	村木 正雄	SMBC日興証券
I T サ ー ビ ス・ソ フ ト ウ ェ ア	上野 真	大和証券
広 告・メ デ ィ ア・エン タ テ イ ン メ ン ト	前田 栄二	SMBC日興証券
新 興 市 場 銘 柄	古島 次郎	大和証券
個 人 投 資 家 向 け 情 報 提 供	林 健太郎	野村證券

2026年度 ディスクロージャー優良企業選定結果の総括(業種別①)

◆ 評価項目の見直し

経営戦略と整合した人的資本に関する開示や、キャピタルアロケーションに基づく現預金使途の明確化など、企業価値の源泉を可視化する情報開示を重視した。

また、資本コストや株価を意識した経営の推進、社外取締役と投資家との建設的な対話機会の創出など、中長期的な企業価値の向上に資する開示姿勢を適切に評価できるよう質問項目および配点を設定し、評価を実施した。

◆ 優良企業の評価結果の特徴

業種別では、18業種のうち、半数の9業種で受賞企業の入れ替わりがあり、3業種が初受賞、6業種が返り咲き受賞となった。本年度も、一昨年、昨年と同様に多くの業種において順位の変動があった。

順位の変動が多くなっている要因として、各企業が、昨今の開示を巡る諸事情を踏まえて、企業価値向上の観点からも本気で開示の改善に取り組むようになってきていることがあげられる。

上位企業は、引き続き「経営陣のIR姿勢等」および「ESG関連」の評価分野において、最上位の評価を受けているものが多い。

2026年度 ディスクロージャー優良企業選定結果の総括(業種別②)

◆「経営陣のIR姿勢等」

証券アナリストは、経営トップが経営方針や成長戦略、資本政策を自らの言葉で分かりやすく説明し、投資家・アナリストとの対話を重視するとともに、その意見を経営や情報開示の改善に活かそうとする姿勢を高く評価。

IR部門については、専門性の高い人材を配置し、経営陣と連携しながら投資家との質の高い対話を実践するとともに、IR Dayや事業説明会等を通じて有益な情報提供を行う企業を高く評価。

◆「ESG関連」

ESG情報開示の充実が進む中、ESGを経営戦略や中長期ビジョンと一体的に位置付け企業価値向上との関係を分かりやすく説明するとともに、ROEや資本政策に関する考え方を明確に示す企業を高く評価。

人的資本に関する開示については、従業員エンゲージメントやダイバーシティ、人材戦略に関する情報開示の充実が評価を高める要因となった。

社外取締役と資本市場との対話については、十分な対話機会を提供した一部の企業を高く評価しつつ、企業価値向上やガバナンスの実効性などを的確に評価する上でも、さらなる対話機会の充実を期待する声が多かった。

ディスクロージャー優良企業選定結果の総括(新興市場・個人投資家向け)

◆「新興市場銘柄」

優良企業3社は、2社が初受賞、1社が連続受賞。

経営トップやCFOが自ら説明会等に登壇し、事業の方向性や成長戦略、財務状況について丁寧かつ具体的に説明している企業や、自社の弱点やリスクなどのネガティブ情報も積極的に開示し高い透明性を確保している企業が高く評価された。

IR部門については、経営陣と十分な情報共有を行い、投資家の意見や市場の視点を経営陣への確に伝えるとともに、その考え方を投資家へ分かりやすく発信している企業を評価する声があった。

◆「個人投資家向け情報提供」

優良企業3社は、2社が連続受賞、1社が返り咲きの受賞。このうち2社は業種別とのダブル受賞となった。

経営トップによる成長戦略などの分かりやすい説明、動画配信やアーカイブの活用などによる情報へのアクセスの容易さ、事業内容や経営戦略、財務・ESG情報の体系的に整理された形での開示、図表等を活用した理解しやすい情報提供などが、評価を分けた。

証券アナリストによるディスクロージャー優良企業(全社一覧)

建設・住宅・不動産
 食品
 化学・繊維
 トイレタリー・化粧品
 医薬品
 鉄鋼・非鉄金属
 機械
 電気・精密機器
 自動車・同部品・タイヤ
 エネルギー
 運輸
 通信・インターネット
 商社
 小売業
 銀行
 保険・証券・その他金融
 ITサービス・ソフトウェア
 広告・メディア・エンタテインメント

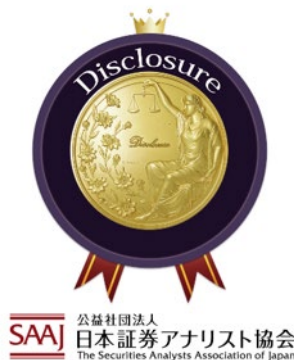
新興市場銘柄

個人投資家向け情報提供

三菱地所
 味の素
 三井化学
 花王
 アステラス製薬
 UACJ
 小松製作所
 ミネベアミツミ
 横浜ゴム
 INPEX
 東日本旅客鉄道
 ソフトバンク
 伊藤忠商事
 アシックス
 三井住友フィナンシャルグループ
 東京海上ホールディングス
 野村総合研究所
 バンダイナムコホールディングス
 BuySell Technologies
 Finatextホールディングス
 Heartseed
 味の素
 ソフトバンク
 三菱UFJフィナンシャル・グループ

2026年度 証券アナリストによるディスクロージャー優良企業(業種別1)

ディスクロージャー
2026年度 優良企業



建設・住宅・不動産	三菱地所	(7 回 目)
食 品	味の素	(3回連続5回目)
化 学 ・ 繊 維	三井化学	(6回連続10回目)
トイレタリー・化粧品	花 王	(2回連続4回目)
医 薬 品	アステラス製薬	(8 回 目)
鉄 鋼 ・ 非 鉄 金 属	U A C J	(3回連続3回目)
機 械	小 松 製 作 所	(14 回 目)
電 気 ・ 精 密 機 器	ミネベアミツミ	(初 受 賞)
自動車・同部品・タイヤ	横 浜 ゴ ム	(初 受 賞)
エ ネ ル ギ ー	I N P E X	(2 回 目)

2026年度 証券アナリストによるディスクロージャー優良企業(業種別2)

運輸 東日本旅客鉄道 (9 回 目)

通信・インターネット ソフトバンク (3回連続3回目)

商社 伊藤忠商事 (3 回 目)

小売業 アシックス (2回連続2回目)

銀行 三井住友
フィナンシャルグループ (3回連続7回目)

保険・証券・その他金融 東京海上ホールディングス (3回連続8回目)

ITサービス・ソフトウェア 野村総合研究所 (10回連続18回目)

広告・メディア・エンタテインメント バンダイナムコ
ホールディングス (初 受 賞)

ディスクロージャー
2026年度 優良企業



SAAJ 公益社団法人
日本証券アナリスト協会
The Securities Analysts Association of Japan

2026年度 証券アナリストによるディスクロージャー優良企業(新興、個人)

ディスクロージャー
新興市場銘柄
2026年度 優良企業



新 興 市 場 銘 柄

BuySell Technologies (2回連続3回目)

Finatextホールディングス (初 受 賞)

H e a r t s e e d (初 受 賞)

ディスクロージャー
個人投資家向け情報提供
2026年度 優良企業



個 人 投 資 家 向 け
情 報 提 供

味 の 素 (5 回 目)

ソ フ ト バ ン ク (2回連続2回目)

三 菱 U F J
フィナンシャル・グループ (2回連続6回目)

2026年度 ディスクロージャー称賛企業(高水準企業、改善が著しい企業)

高水準のディスクロージャーを連続維持している企業

(直近3回連続して第2位または第3位の評価を受けた次の5社)

食	品	アサヒグループホールディングス
化学・繊維	旭	化成
化学・繊維	日産	化学
機械	ダイキン	工業
保険・証券・その他金融	第一	ライフグループ

ディスクロージャーの改善が著しい企業

(専門部会からディスクロージャーの改善が著しいと評価された次の6社)

化学・繊維	デ	ン	カ
機械	ダイ	フ	ク
電気・精密機器	T	D	K
電気・精密機器	三菱	電	機
自動車・同部品・タイヤ	いすゞ	自動車	
広告・メディア・エンタテインメント	エイチ・アイ	・エス	

「中小型株等上場企業向けの業種別のディスクロージャーガイドライン及び好事例」(試行作成)について

1. 業種別のディスクロージャーガイドライン

- (1) 「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」の評価項目をベースに、中小型株等上場企業向けとして活用しやすい内容に整理。
 - ①経営陣のIR姿勢等、IR部門の機能、IRの基本スタンス、②説明会、インタビュー、説明資料等における開示
 - ③フェアディスクロージャー、④ESGに関連する情報の開示、⑤各業種の状況に即した自主的な情報開示
- (2) 業種別であることから、特に②及び⑤について、それぞれの業種を踏まえた特色が出ている。また、④についても、E(環境)及びS(社会)の記載に濃淡がみられる。

2. 業種別のディスクロージャー好事例

- (1) 主として時価総額1,000億円未満の企業を対象に、優れた情報開示を行っている企業の取組みを紹介。各企業について、「優れた具体的な開示内容」と「好事例と考える理由」を簡潔に整理。
- (2) 18業種および新興市場銘柄について、計50社の好事例を掲載。東京都所在以外の企業が4割超を占め、以下のような企業が好事例としてあげられた。
 - ・経営トップが投資家との対話を重視し、自ら中長期的な価値創造ストーリーを分かりやすく伝えている
 - ・中期経営計画や統合報告書等において、事業ポートフォリオ改革や中長期的視点での企業価値向上策をストーリーとして明確に開示できている

- ・説明会の動画やスクリプトを継続的に開示し、経営陣の説明を投資家が直接確認できる
- ・ESGについて、環境や社会課題と事業戦略とを結びつけて説明している
- ・業績把握のため必要なKPIが整理され、投資家が事業の進捗度合い、成長ドライバー、将来収益の見通し等を把握しやすい

3. 今後、本ガイドライン及び好事例の内容をブラッシュアップしていくことを含め、中小型株等上場企業に対する支援策の一層の充実を図る。

【免責事項(ディスクレーマー)】

- ① 今回のガイドライン・好事例は、生成AIによるアウトプットを踏まえて、試行的に作成してしております。したがって、内容の正確性、完全性、有用性等を保証するものではなく、本試行結果の利用により発生するいかなる責任も利用者自身が負います。
- ② 好事例として掲載した企業について、何らの投資推奨や保証を行うものではありません。



協会ウェブサイト

<https://www.saa.or.jp/index.html>



※ 本資料は、日本証券アナリスト協会の公表物等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、意見にかかる部分は個人的な見解であり、日本証券アナリスト協会としての見解を示すものではありません。



公益社団法人
日本証券アナリスト協会

参 考 資 料

2026年10月8日

公益社団法人 日本証券アナリスト協会
ディスクロージャー研究会

目 次

1. 日本証券アナリスト協会について		3
2. ディスクロージャー優良企業選定制度について		5
3. 過去10年間のディスクロージャー優良企業一覧		10
4. 「中小型株等上場企業向けの業種別のディスクロージャー ガイドライン及び好事例」(試行作成)の経緯について		14

1. 日本証券アナリスト協会について

組織・業務

- **会長** 鳥海 智絵（野村證券(株) 顧問）

- **沿革**
 - 1962年10月 東京証券アナリスト協会創立
 - 1973年7月 社団法人へ改組（社団法人 日本証券アナリスト協会）
 - 1981年9月 検定会員（CMA）誕生
 - 1995年9月 ディスクロージャー優良企業選定事業開始
 - 2011年4月 公益法人へ移行（公益社団法人 日本証券アナリスト協会）
 - 2022年10月 創立60周年
 - 2024年3月 資産形成コンサルタント（ABC）試験制度開始
 - 2024年10月 ディスクロージャー優良企業選定事業30年

詳しくはこちら



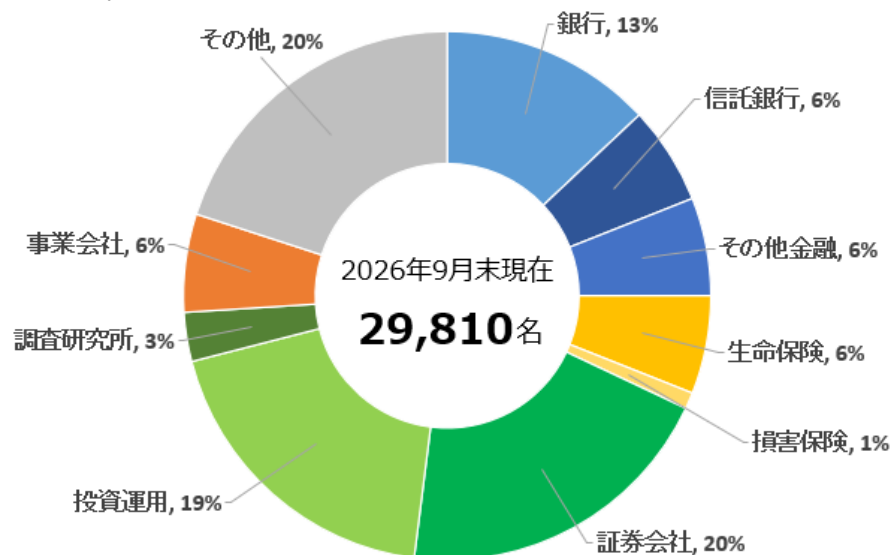
- **会員（2026年9月末）**

検定会員：29,810名

（9月末現在の所属内訳は右図）

法人会員：193社

（証券55社、銀行45社、
投資運用会社48社、等）



- **主な事業内容**

- ・教育、資格付与（協会認定アナリスト（CMA）、プライベートバンカー（PB）、資産形成コンサルタント（ABC）など）
- ・専門性の向上（証券アナリストジャーナル、大会・講演会・セミナー、職業倫理・行為基準など）
- ・金融・資本市場への情報発信（ディスクロージャー優良企業選定、開示に係る各種意見書の提出、IRセミナー・IRミーティングの開催など）

2. ディスクロージャー優良企業選定制度について

選定制度の実施について

- 日本証券アナリスト協会では、ディスクロージャー研究会を設置して、企業情報の利用者としての証券アナリストの立場から、ディスクロージャーの促進、特に、**企業の制度的・受動的な情報開示にとどまらない、自発的・積極的な情報開示の促進を目的として**、「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」制度を設けている。
- 本選定制度は、1995年度より開始されているが、開示書類の作成者である**企業と**、利用者である**証券アナリストとの双方向の直接対話型**であることに特色がある。ちなみに、本年度で32回目を迎える。
- 評価は、企業に日頃接触している**現役の証券アナリスト**が行い、その評価結果やコメントの内容については、**各専門部会の委員が各企業へフィードバック**し、企業との対話を通じて、ディスクロージャーのさらなる向上を促している。
- 1995年度の第1回では、専門部会委員を含めて約200名の証券アナリストが参加していたが、本年度では、専門部会委員を含めて延べ500名超が参加するに至っている。

詳しくはこちら



2026年度実施要領（1）

2026年度の選定は、次の要領で実施

● 評価項目

評価基準は、(1) 経営陣のIR姿勢、IR部門の機能、IRの基本スタンス、(2) 説明会、インタビュー、説明資料等における開示、(3) フェア・ディスクロージャー、(4) ESGに関連する情報の開示、(5) 各業種の状況に即した自主的な情報開示、の**5つの評価分野から構成**

各評価分野の評価項目・配点については、ディスクロージャー研究会が定める評価分野別の配点枠の範囲内で、同研究会の下に設置された業種別の各専門部会がそれぞれ設定（下表。5分野合計で100点満点）

評 価 分 野	配 点 枠
(1) 経営陣のIR姿勢、IR部門の機能、IRの基本スタンス	15 ～ 50点
(2) 説明会、インタビュー、説明資料等における開示	10 ～ 40点
(3) フェア・ディスクロージャー	5 ～ 25点
(4) ESGに関連する情報の開示	15 ～ 40点
(5) 各業種の状況に即した自主的な情報開示	5 ～ 20点

2026年度実施要領（2）

● 評価対象企業

（業種別）

東証プライム市場の上場株式時価総額上位企業を中心として、建設・住宅・不動産（19社）、食品（20社）、化学・繊維（20社）、トイレタリー・化粧品（8社）、医薬品（22社）、鉄鋼・非鉄金属（15社）、機械（19社）、電気・精密機器（23社）、自動車・同部品・タイヤ（20社）、エネルギー（21社）、運輸（18社）、通信・インターネット（10社）、商社（7社）、小売業（22社）、銀行（13社）、保険・証券・その他金融（9社）、ITサービス・ソフトウェア（9社）、広告・メディア・エンタテインメント（24社）の

18業種 合計299社を評価対象とした。

（注1）評価の結果、評価者数が一定数に達しない企業を除外している（除外基準は各専門部会が決定。本年度は13社を除外）。

（注2）業種別では、優良企業の表彰のほかに、「高水準のディスクロージャーを連続維持している企業」5社、および「ディスクロージャーの改善が著しい企業」6社を選定して称賛を行っている。

（新興市場銘柄）

新興市場銘柄については、グロース、ネクスト、Q-Boardおよびアンビシャスの4市場に上場している企業の中で、時価総額が上位であって、かつその企業を調査対象としているアナリストの数が一定数以上の、**29社を評価対象**とした。

（個人投資家向け情報提供）

個人投資家向け情報提供については、本年度の各業種（18業種）および新興市場銘柄についての選定結果において上位1割（評価対象企業の数で10で割った数（小数点第1位を切上げ））に入った企業のうち、2025年7月から2026年6月までの期間において、「個人投資家向け会社説明会」を開催した、**30社を評価対象**とした。

● 評価対象

原則として、**2025年7月から2026年6月までの1年間における企業のディスクロージャー**

2026年度実施要領（3）

● 評価スケジュール

時 期	内 容
12月中旬～1月下旬	各専門部会による対象企業、評価項目及び配点の見直し
3月上旬	対象企業宛てに評価項目及び配点一覧等を送付
4月上旬～4月末	スコアシート記入アナリストの評価資格照会調査、確定
5月下旬～7月上旬	評価資格を満たすアナリストへスコアシート発送、回収
7月中旬～8月上旬	スコアシートの集計
8月中旬～9月下旬	各専門部会による選定結果の取りまとめ
9月下旬	ディスクロージャー研究会による最終決定
10月上旬	ディスクロージャー優良企業選定結果公表
	日本証券アナリスト大会における表彰企業の紹介
10月中旬～12月末	専門部会委員による企業へのフィードバック実施

3. 過去10年間のディスクロージャー優良企業一覧

1995年（第1回）からの資料はこちら



過去10年間のディスクロージャー優良企業一覧(1/3)

	建設・住宅・不動産	食品	化学・繊維	トイレットリー・化粧品	医薬品	鉄鋼・非鉄金属	機械
第23回（2017年度）	大東建託	アサヒグループ ホールディングス	三井化学		塩野義製薬	住友金属鉱山	休み
第24回（2018年度）	大東建託	アサヒグループ ホールディングス	三井化学		塩野義製薬	住友金属鉱山	小松製作所
第25回（2019年度）	大東建託	アサヒグループ ホールディングス	三井化学	花王	塩野義製薬	住友金属鉱山	休み
第26回（2020年度）	大和ハウス工業	アサヒグループ ホールディングス	日産化学	花王	塩野義製薬	日本製鉄	ダイキン工業
第27回（2021年度）	積水ハウス	アサヒグループ ホールディングス	三井化学	ファンケル	アステラス製薬	日本製鉄	休み
第28回（2022年度）	積水ハウス	味の素	三井化学	ファンケル	第一三共	日本製鉄	小松製作所
第29回（2023年度）	積水ハウス	アサヒグループ ホールディングス	三井化学	ポーラ・オルビス ホールディングス	アステラス製薬	神戸製鋼所	休み
第30回（2024年度）	三井不動産	味の素	三井化学	ファンケル	中外製薬	①日本製鉄 ①UACJ	荏原製作所
第31回（2025年度）	長谷工コーポレーション	味の素	三井化学	花王	中外製薬	UACJ	休み
第32回（2026年度）	三菱地所	味の素	三井化学	花王	アステラス製薬	UACJ	小松製作所

過去10年間のディスクロージャー優良企業一覧(2/3)

	電気・精密機器	自動車・同部品・タイヤ	エネルギー (2018～石油・鉱業と電力・ガスを統合)		運輸	通信・インターネット	商社
第23回（2017年度）	日本電産 (現：ニデック)	SUBARU	コスモエネルギー ホールディングス	東京瓦斯	ANAホールディングス	日本電信電話 (現：NTT)	三井物産
第24回（2018年度）	オムロン	SUBARU	東京瓦斯		日本航空	日本電信電話 (現：NTT)	三井物産
第25回（2019年度）	ソニー (現：ソニーグループ)	SUBARU	JXTGホールディングス (現：ENEOSホールディングス)		日本航空	GMOペイメントゲートウェイ	三井物産
第26回（2020年度）	オムロン	豊田合成	ENEOSホールディングス		ANAホールディングス	GMOペイメントゲートウェイ	三井物産
第27回（2021年度）	オムロン	デンソー	日本瓦斯		日本航空	日本電信電話 (現：NTT)	三井物産
第28回（2022年度）	オムロン	ブリヂストン	該当なし		日本航空	日本電信電話 (現：NTT)	三井物産
第29回（2023年度）	オムロン	ブリヂストン	出光興産		日本航空	日本電信電話 (現：NTT)	三井物産
第30回（2024年度）	日立製作所	ブリヂストン	出光興産		川崎汽船	ソフトバンク	三井物産
第31回（2025年度）	日立製作所	ブリヂストン	コスモエネルギーホールディングス		九州旅客鉄道	ソフトバンク	三井物産
第32回（2026年度）	ミネベアミツミ	横浜ゴム	INPEX		東日本旅客鉄道	ソフトバンク	伊藤忠商事

過去10年間のディスクローチャー優良企業一覧(3/3)

	小売業	銀行	保険・証券・その他金融	ITサービス・ソフトウェア	広告・メディア・エンタテインメント	新興市場銘柄	個人投資家向け 情報提供
第23回（2017年度）	J. フロント・リテイリング	三菱UFJ フィナンシャル・グループ		野村総合研究所	リクルート ホールディングス	フロイント産業 セリア エン・ジャパン（現：エン）	アサヒグループ ホールディングス シスメックス 三菱UFJ フィナンシャル・グループ
第24回（2018年度）	丸井グループ	三菱UFJ フィナンシャル・グループ	東京海上ホールディングス	野村総合研究所	セガサミー ホールディングス	プロトコーポレーション セリア ハーモニック・ドライブ・ システムズ	日本電産（現：ニデック） 三井物産 KDDI
第25回（2019年度）	パン・パシフィック・ インターナショナル ホールディングス	三井住友 フィナンシャルグループ	東京海上ホールディングス	野村総合研究所	オリエンタルランド	SHIFT ティーケーピー（現：TKP） ユーザベース	三菱UFJ フィナンシャル・グループ 日本電産（現：ニデック） 三井物産
第26回（2020年度）	パン・パシフィック・ インターナショナル ホールディングス	三井住友 フィナンシャルグループ	東京海上ホールディングス	野村総合研究所	オリエンタルランド	ユーザベース 弁護士ドットコム メドピア	野村総合研究所 三井住友 フィナンシャルグループ 東京海上ホールディングス
第27回（2021年度）	丸井グループ	三井住友 フィナンシャルグループ	東京海上ホールディングス	野村総合研究所	オリエンタルランド	HENGE ユーザベース メドレー	中外製薬 野村総合研究所 味の素
第28回（2022年度）	丸井グループ	三菱UFJ フィナンシャル・グループ	東京海上ホールディングス	野村総合研究所	オリエンタルランド	BuySell Technologies スマレジ i-plug	日本製鉄 野村総合研究所 味の素
第29回（2023年度）	丸井グループ	三菱UFJ フィナンシャル・グループ	該当なし	野村総合研究所	リクルート ホールディングス	スパイダープラス GMOフィナンシャルゲート Macbee Planet	野村総合研究所 味の素
第30回（2024年度）	三越伊勢丹 ホールディングス	三井住友 フィナンシャルグループ	東京海上ホールディングス	野村総合研究所	オリエンタルランド	スパイダープラス スマレジ GMOフィナンシャルゲート	味の素 日本製鉄 東京海上ホールディングス
第31回（2025年度）	アシックス	三井住友 フィナンシャルグループ	東京海上ホールディングス	野村総合研究所	セガサミー ホールディングス	BuySell Technologies トライアルホールディングス ティーケーピー（現：TKP）	三菱UFJ フィナンシャル・グループ ソフトバンク 第一三共
第32回（2026年度）	アシックス	三井住友 フィナンシャルグループ	東京海上ホールディングス	野村総合研究所	パナダイナムコ ホールディングス	BuySell Technologies Finatextホールディングス Heartseed	味の素 ソフトバンク 三菱UFJ フィナンシャル・グループ

（注）同順位の場合、社名はコード番号順に記載。

4. 「中小型株等上場企業向けの業種別のディスクロージャーガイドライン 及び好事例」（試行作成）の経緯について

(参考)「中小型株等上場企業向けの業種別のディスクロージャーガイドライン及び好事例」(試行作成)の経緯について

【背景】

- 中小型株等上場企業(上場企業数では大半を占める)は、当協会が1995年から毎年実施している「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」の対象外となっている
- 中小型株等上場企業の中には、証券アナリストによるカバーが十分でない企業も多く、かねてより、情報開示水準の向上に向けた支援策の必要性が指摘されていた
- 特に近年は、企業の持続的成長や中長期的な企業価値向上の観点からも、企業規模を問わず開示情報の充実が求められており、中小型株等上場企業に対する支援ニーズが高まっている

【経緯】

- 上記背景を踏まえ、2025年に中小型株等上場企業を対象にしたアンケート調査を実施したところ、支援策として「業種別のディスクロージャーガイドライン」や「業種別の好事例集」の作成を求める声が過半数を占めた
- 今年度は、当分野に関する知見・実績の蓄積が十分ではないことを踏まえ、試行的に作業を実施することとし、上記の優良企業選定で用いている業種別の評価項目を基に生成AIが作成したアウトプットを踏まえて、当研究会の各専門部会において議論をし「中小型株等上場企業向けの業種別のディスクロージャーガイドライン及び好事例」を作成した
- 本資料は、中小型株等上場企業が自主的に情報開示の充実を図る際の参考資料として活用されることを期待している